

下肢静脈瘤に対する新しい治療「ベナシール」とは 日帰り治療ができる、患者に優しい治療法

高野橋医院



高野橋 暁(あきら)さん
プロフィール

高野橋医院 脳神経外科、心臓血管外科。静岡済生会総合病院 非常勤
◇日本心臓血管外科専門医、日本循環器学会専門医、日本外科学会専門医ほか



Q 下肢静脈瘤(りゅうじゅう)に対する新しい治療が始まったそうですが、どのようなものなのでしょうか。

A 下肢静脈瘤に対する治療方法は病気の血管のサイズなどによって手術(ストリッピング術、高位結紮(けっさく)術)、血管内治療、硬化療法の3つに分けられます。それぞれに特徴がありますが、病変が進行し血管が著明に拡大すれば従来の手術を行うことになります。

手術は一般的には腰椎麻酔といった腰からの麻酔で行い、通常2日、3日間の入院が必要となります。そして、決して大きくはありませんが、数カ所の切開が必要です。これに対し2011年に保険診療となったレーザーやラジオ波を使った血管内治療は現在、手術と同様に主な治療方法となっており、多くの施設で行われています。

血管内治療は入院の必要性がなく、病状によっては傷も全くつかず、その日から入浴も可能で、歩いて帰ることが出来ます。手術に比べれば、身体に対する影響は少なくなり、術後の痛みや内出血も非常に少なくなります。ただ、この血管内治療においても、局所麻酔が必要で、非常にまれですが、術後に熱傷や血栓症を引き起こすことがあります。これに対しベナシールと呼ばれる血管内塞栓療法は、医療用の瞬間接着剤を静脈の中に注入して病気の血管をふさいでしまう方法です。そのため、火傷や血栓症の心配ありません。今までは、術後に弾性ストッキングを着用する必要がありました。が、それもなく、患者にとってさらに優しい治療となりました。もちろん日帰りで治療ができ、術後の制限もほとんどありません。この治療を取り入れている医院もあります。お悩みの方はご相談ください。

脳神経外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
〈午前〉8:30~12:00	○	○	/	○	○	○
〈午後〉13:30~18:00	○	○	/	○	○	/
院長 高野橋 正好	休診日/水曜・日曜・祝日・土曜午後					

心臓血管外科/循環器内科/下肢静脈瘤日帰り手術

診療時間	月	火	水	木	金	土
〈午前〉8:30~12:00	○	/	/	○	○	○
〈午後〉13:30~18:00	○	○	/	○	○	◎~16:30
医師 高野橋 暁	休診日/火曜午前・水曜・日曜・祝日					

高野橋医院 ☎054-256-2525

中部国道線 新丸子バス停下車 徒歩5分
静岡市駿河区北丸子2-5-10 高野橋医院 検索